

エネルギー作物に関する研究と教育に基づく脱炭素社会構築の試み

東京農業大学農学部・エリアンサグループ

【住所】〒243-0034 神奈川県厚木市船子 1737 東京農業大学農学部 【TEL】 046-270-6525

活動概要

緩和分野

エネルギー作物の栽培とそれらを利用した再生可能エネルギーの地産地消およびエネルギーを利用しない炭素の土壌貯留の実証を目的とした活動である。浪江町で、本活動の実装を想定し、事業価値＝経済価値＋社会的価値（雇用創出）＋環境価値（CO₂排出）と考えると、5年前後で黒字に転じることになり、スケールメリットを考慮すると、周辺市町を含め 85ha レベルで黒字となる。また、私たちの研究によれば、定植 1年目に約 380 g /m²、2年目に約 760 g /m²の根が枯死し、炭素含有率を 36%とすると、定植1年目は約 140 g /m²、2年目が約 270 g /m²の炭素が土壌中に蓄積される。耕作放棄地や被災地の利用を伴い脱炭素社会への貢献が大きい。



毎年エコプロで学生が研究教育活動を発表



バイオマス生産性が非常に高いエリアンサス